

田神碑を美郷町指定文化財に指定しました

町教育委員会はこのたび、「田神碑」を美郷町指定文化財(有形文化財)に指定しました。

田神碑は、嘉永3年(1850年)、秋田藩の農業政策とその恩恵に感謝し、郡奉行 跡部惣兵衛(あとべそうべえ)をはじめとする8名の役人を称え、頌徳碑(しょうとくひ)を建立して祭った歴史資料です。

また、建立以来170年が経過しましたが、六郷東根全域を中心に農家の崇敬を集め、現在は田の尻、一ツ屋の両集落が講中となって管理・運営にあたっています。町内に現存する田神碑の中でも最も大きく、農村社会における信仰の姿をよく伝えています。

指定にあたっては、美郷町文化財保護審議会(森本彌吉会長、委員9名)においてご審議いただきました。

名 称 ● 田神碑
 所 在 地 ● 美郷町六郷東根字東明田地14-1
 田の尻農村公園
 指定年月日 ● 令和2年8月26日



問 ● 町教育委員会 生涯学習課 歴史文化財班 ☎ 0187 (84) 4040



美郷町の歴史と文化をたどる

春日神社地蔵菩薩碑・元宮跡

今月は、平成元年に有形文化財として指定した春日神社元宮跡の板碑、平成4年に史跡として指定した春日神社元宮跡をご紹介します。

春日神社元宮跡地蔵菩薩碑について

今回ご紹介する板碑は、特別養護老人ホーム真屋荘近くの摩利支天堂内にある地蔵菩薩碑です。地蔵菩薩碑は、高さ67cm、幅52cm、厚さ34cmで、中央に地蔵菩薩(力)の種子(ちゅうし)が直径36cmの円相の中に刻まれています。

建立は戦国織豊期と推定され、江戸時代後期の旅行家、菅江真澄が記した月の出羽路仙北郡二十巻「本堂城廻村」に「若林野眺望。春日埜に金剛界大日如来の種子石あり。」と図絵が描かれています。

春日神社元宮跡について

春日神社の由来は、延暦10年(791年)、坂上田村麻呂が蝦夷征討にあたり、戦勝祈願が行われ春日森に一棟を建立したと伝えられています。また、境内周辺には、摩利支天堂、稲荷大明神、本堂一里塚跡があり、古くから本堂氏の氏神として崇められ、アカマツの大木とともに親しまれてきた場所です。

県指定文化財である明和4年(1764年)本堂城廻村絵図には、マツの木の近くで幔幕を張り、料理人や芸人を呼び、祝宴を開いている戯れ絵が描かれており、江戸時代に行われた風習を伝えています。



▼ 春日神社元宮跡 ▲ 地蔵菩薩碑



文芸美郷

川柳

十万を大事にしまし出番待つ
明日穫ろう一日早くカラス泥
目覚しのベルがまだか起きて待つ
自転車で新たな発見通勤路
温度差で別室に又楽しくもあり
元本堂北部
コロンビアで県外ナンバードきつとし
西高方町
入海小夜子

中野 深澤 光二
上野荒町 鈴木 直保
上畑屋 高橋 房雄
上畑屋 小林 大悟

俳句

農に生き厄日氣遣う余生かな
闇の中新聞を待つ熱帯夜
山間の自然に湧く湯漫遊す
屋敷跡ひと株残る彼岸花
コンバイン大形小形刈り進む
翳りなき空の青さや花野道
解体音更地となりや時俣ぶ

千屋 戸澤 陽子
善元寺 高橋 悦子
橋本 木村 タエ
六郷 高橋みつを
金沢西根 加藤 省市
金沢西根 加藤 栄子
六郷 西村 文子

短歌

うだる身の真夏となりて一服の冷酒に唸るのどごしの水
噛み砕き躰重ねし足乳根に嘆きなかせられ我もゆく道
雪深き峠を越えて送迎せし孫等は巢立ち我は老いたり
飼猫が近所を自由に駆け巡り迷惑かけて小言いわれる
雨降りてようやく咲いた露草を刈り残したりそっと見ている
賑やかな蝉の合唱日暮れ時短き生命愛しみて聞く
九十歳になりたる夫が誘われてデイサービスに参加している
だし風と熊野の杜の民唄に響渡れず秋ぞ更けゆく
せせらぎの流れに燥ぐ子等の声うだる暑さの夏も過ぎ行く
残暑の厳しい中で穫る秋の種まく老婆の手節ぶし逞し
目を閉じて浮ぶものなく老い深む日照の夏は失語が恐い
離農した友が愛用トラクター終活農の我と道連れ
猛暑で野菜高値で困りはて小さき菜園婆野菜蒔く
この峰に何を求めてあき茜里に下りて命もやせよ
入れ歯取れ笑う口元変化あり話す口調に言葉決まらず
子供連れあまりの多さにコロナのせいデイズニランドが八幡平に
二冠得て愛知の誇り棋士十代あまたの笑顔国内満ちて

金沢 伊藤 敏子
六郷 岩田 貞
安城寺上 森元 宏美
米町 福島 茂
善元寺 高橋イツ子
第一晩 小木田敏子
下畑屋 大和福三郎
大畑 高橋 リツ
小荒川 齊藤 キミ
千屋 高橋 重寿
元村 照井富士男
大町 藤本 昇
金沢 野村 秀夫
六郷 籠谷 ミチ
千屋南部 戸澤 稜生
田の尻 藤原 一男
愛知県 寺澤 良子
天神堂 中江紗代子



イラスト

「ミニダリア」
坂本和子さん(六郷)



「コロナに負けないで！」
めーめさん(六郷)

作品(短歌・俳句・川柳・イラストなど)を募集します

作品には読み仮名をおふりいただき、応募される方のお名前、住所、電話番号を明記のうえ、10月9日(金)までご応募ください。応募は1点とし、応募者多数の場合は掲載できないことがあります。内容が広報掲載上好ましくない作品については掲載しません。
応募先 ● 町総務課、六郷出張所、仙南出張所
町のメール info@town.misato.akita.jp

学友館から 新刊図書のご案内

問い合わせ ● 図書館 ☎0187(84)4920

老いのたしなみ 石川 恭三(著)
「許せない」がやめられない
SNSで蔓延する「#怒りの快樂」依存症
備えいらずの防災レシピ 坂爪 真吾(著)
ここにいる 飯田 和子(著)
つめかみおばけ あおき ひろえ(作)
よしむら あきこ(作・絵)

臨時休館のお知らせ

ネットワーク工事のため、10月18日(日)は図書館を臨時休館とします。返本については、美郷町学友館玄関のブックポストをご利用ください。

新聞の力 新聞で世界が見える 橋本 五郎(著)
記憶力日本チャンピオンの超効率すごい記憶術 青木 健(著)
明治を生きた男装の女医 高橋瑞物語 田中 ひかる(著)
枝元なほみのリアル朝ごはん 毎朝、こんなの食べてます。
枝元 なほみ(著)
茶席の雪月花 室礼と道具の取り合わせ 白波瀬 宗幸(著)
ただいま神様当番 青山 美智子(著)
図書館の子 佐々木 譲(著)
毒島刑事最後の事件 中山 七里(著)
女だてら 諸田 玲子(著)
欲が出ました ヨシタケ シンスケ(著)

ガリガリ君ができるまで 岩貞 るみこ(文)
話せばわかる!?ネコごころ CAMP NYAN TOKYO(監修)
じりじりの移動図書館 廣嶋 玲子(ほか)(著)
雨ふる本屋と雨かんむりの花 日向 理恵子(作)
みちの妖怪ツアー3 ワークショップ編 佐々木 ひとみ(ほか)(著)

きりばあちゃんのともし なかや みわ(さく)
みどりのほし 林 木林(作)
かむさりやまのおまじない 三浦 しをん(原作)
やとのいえ 八尾 慶次(作)
ねぐせのしくみ ヨシタケ シンスケ(作)